



内視鏡学会認定施設
消化器内視鏡センター

心
**最高の
 設備 技術**

最前線医療を行く

**苦痛のない内視鏡診療で
 消化器疾患を早期発見・治療!**

的
 確な診断・適切な治療”をモットーに、
 一貫した検査・診断・治療をめざす西の京病院。今回は消化器がんの早期発見に有力で確実な内視鏡検査について、検査実績年間6千件超の内視鏡認定施設・消化器内視鏡センターで話を伺った。

**高い精度と安全性、
 痛みを伴わない鎮静下内視鏡**

内視鏡カメラの有効性をわかっていても、一度でもつらい思いをすれば消極的になるのが普通だ。そこで西の京病院では、患者の負担を大幅に軽減できる**鎮静下内視鏡検査**を導入。



使用するのは、NBI拡大内視鏡（最大80倍の拡大観察）で、ズーム機能と2つの波長を搭載し、精度の高い観察が可能だ。ただスコープの大きさが10ミ以上、

通常のやり方では大きな苦痛が伴うこともあり、鎮静下での内視鏡検査を実施している。
 鎮静下とは、麻酔を使った状態で、受診者は痛みを感じず、医師も受診者の苦しそうな表情を見ることがなく、診断に集中できるそうだ。この麻酔は効きが早く、醒めた後はすっと消えるタイプなので、車で来院した人でも安心。また大腸と胃の内視鏡検査を続けて行うこともでき、1回の来院で済む。

最新鋭のハイビジョンカメラを用いた鎮静下内視鏡検査は、精度も高く、私たち医師は従来よりも短い時間でよりの**確な診断**ができます。

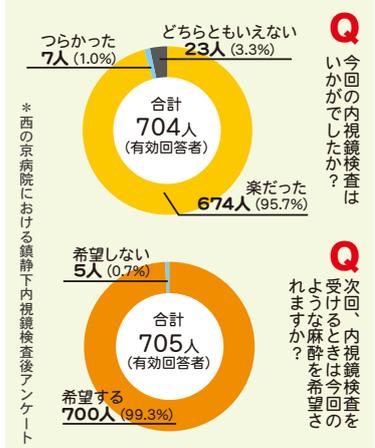
受診者の声

- 内視鏡への抵抗がなくなりました。
- 飲み込むときも難なくスツといけました。
- 寝ている間に終わりました!
- 麻酔なしの検査ではストレスだったが、これなら楽!

年間6千件を超える実績

鎮静下（検査）でも従来検査と同等費用で受けられ、同院での内視鏡検査は年間6千件を超える。そしてその99.3%が次回からの検査も「鎮静下を希望する」と答えた。

胃や腸に自覚症状がある人は保険診療



定期的な健診が受けやすくなり、がんの早期発見・治療につながります。

定期的な検査を受けることで、胃がん

炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病など）
 についてもご相談ください!



消化器内科部長 兼 総合健診センター長 **塩谷 淳** 医師 SHIOYA MAKOTO
 消化器内視鏡センター長 **松木 信之** 医師 MATSUKI NOBUYUKI
 消化器内科医長 **西尾 昭宏** 医師 NISHIO AKIHIRO

【内視鏡検査】
 ●診療：月曜～土曜の午前・午後
 ●予約専用ダイヤル TEL.0742-35-1215

検査室の拡大と
 リカバリールーム完備、
 検査待機室の充実



検査室とリカバリールームの増設で、検査の流れがよりスムーズ、プライバシーも配慮



下剤処置中の検査待機室

従来は開腹が必要だった手術も、経験豊富な専門医が内視鏡や腹腔鏡を使い、胃がん、大腸がん、食道がん、十二指腸がんとも、体にダメージを与えない治療を行う。

**最新鋭の内視鏡で
 開腹しない短期入院治療も**

従来は開腹が必要だった手術も、経験豊富な専門医が内視鏡や腹腔鏡を使い、胃がん、大腸がん、食道がん、十二指腸がんとも、体にダメージを与えない治療を行う。

や大腸がんの発見率が上がり、加えて食道がんや十二指腸がんの発見に結びついた例も多い。また胃ガんに大きく関与するピロリ菌の有無も内視鏡で診て、リスクの予測と予防に役立てる。さらに大腸内視鏡検査では、同時に大腸ポリープの切除も行うことができる。